

■ 久慈川 産卵場造成地にアユの卵を確認!!



久慈川辰ノ口地先において、
重機で産卵場を造成!!

造成後12日目に確認されたアユの卵。
発眼卵が多くみられた!!

久慈川漁協が10月19日に常陸大宮市辰ノ口地先の久慈川で、アユの産卵場造成を実施しました。産卵場の造成は、河床が固くなった場所をバックホーを用い**フカフカに耕す**ことで、一時的にアユの産卵に適する『場』をつくることを目的としています。

造成効果を調査したところ、造成後12日目には約375m²の範囲に卵が産みつけられており、その数は**約9,000万粒**と推定されました。

アユは約2週間で卵からふ化し、仔魚は海へと下ります。来年、多くのアユが遡上することを願っています。